

運輸安全マネジメント実施計画書

株式会社ハロー・トーキョー

平成30年1月1日

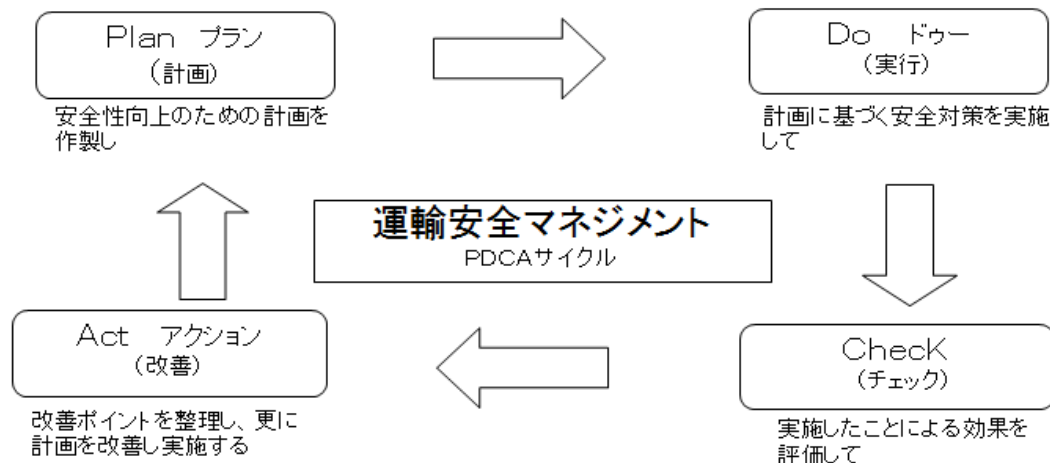
平成30年2月21日 改定

運輸安全マネジメント

株式会社ハロー・トーキョー

輸送の安全を確保するために、代表及び取締役(以下「経営トップ」という。)主導による新たな仕組み(安全マネジメント)づくりを推進し、安心・安全で健全な会社運営を目指す。

「安全マネジメント」とは、輸送の安全確保が最も重要であるという意識を、経営トップから現場の乗務社員まで浸透させ、輸送の安全に関する計画の作成・実行・チェック・改善(いわゆるPDCAサイクル)を活用して、会社全体の安全確保・向上を継続的に行うもの。



◇ 次の7項目の取り組みを行う。

- ① 経営トップは、輸送の安全の確保のため、次に掲げる事項について、主体的に関与し、組織全体の安全管理体制を構築し、適切に運営する。
- ② 関係法令等の遵守と安全最優先の原則を徹底する。
- ③ 安全方針を徹底する。
- ④ 安全統括管理者、その他経営管理部門で安全管理に従事する者(以下「安全統括管理者等」という。)に指示するなどして、安全重点施策を策定する。
- ⑤ 安全統括管理者等に指示するなどして、重大な事故等への対応を実施する。
- ⑥ 安全管理体制を構築・改善し、かつ輸送の安全を確保するために、安全統括管理者等に指示するなどして、必要な要員、情報、車両及び施設が使用できるようにする。
- ⑦ マネジメントレビューを実施する。

5W1Hの手法による具体的な実施運営

ヘン	When (いつ)	ホット	What (なにを)
ヘヤ	Where (どこで)	ホイ	Why (なぜ)
フ	Who (だれが)	ハウ	How (どのようにして)

両備グループ安全マネジメント宣言

社会正義の経営方針に則り、交通運輸各社は「運輸安全マネジメント」に基づき「安全」を最優先とし、「日本一安全な運輸企業」を目指して頑張ることを宣言します。

両備グループ代表 小嶋 光信

1 活動方針

両備教育センター、タクシーユニット安全マネジメント推進室や両備グループ各社及び外部機関の教育と、SSP-u p 運動などを通じ、安全方針に則った安全重点施策を徹底し、数値目標を設定して、効果的な安全マネジメント体制を構築する。

2 S・S・P・u p 運動の実施

S=safety&security(安全),
S=service(サービス),
P=productivity(生産性),
u p =(向上)

3 両備交通四悪 絶対禁止の実施

飲酒運転・酒気帯び運転
個人用携帯電話・スマホルール違反
免許証不携帯
居眠り運転

4 SAFTY-OK 運動の実施

S：スピード出しません
A：安全車間保ちます
F：踏切止まります
T：追突しません
Y：よそ見しません
O：追い越し注意します
K：交差点内徐行します

輸送の安全に関する基本方針及び目標の設定

事業所名

株式会社ハロー・トーキョー

代表者名

代表取締役兼COO

古谷 和秀

輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 安全運転を第一とし、法令順守し、基本に忠実に日々業務を遂行すること。
- (2) 車両の整備を的確に行い、日常点検を厳正に行うこと。
- (3) 点呼において、日々安全への啓蒙、関心を高めること。
- (4) 教育を通じて安全意識を常に涵養すること。
- (5) 万が一重大事故の場合、人命尊重を第一に対処し、速やかに上司、関係機関への連絡をとること。

輸送の安全を確保するための重点施策

両備グループ安全マネジメント委員会スローガン

「コミュニケーションで築こう 安全文化」 「基本動作の徹底」

「一人一人が監督者 注意しあえる大切な仲間」

- (1) 運輸安全マネジメント制度に基づく継続的な内部監査実施による問題点の把握と必要な是正措置の実施
- (2) 現場要員の資質向上のための教育
- (3) 点数制度の有効活用による、安全運行体制の確立
- (4) 3つの習慣「止まる・確認する・道を譲る」 & 「安全が確認できるまで行動しない」の徹底
- (5) 事故予防対策の実施
 - ① 全乗務担当社員へのバイオリズムの活用
 - ② 新人乗務担当社員を優先にKYT訓練の実施
 - ③ 新人乗務担当社員の側乗指導によるフォローの実施
 - ④ ヒヤリ・ハット情報の共有化による危険個所の周知

輸送の安全に関する目標の設定

1. 事故件数

平成30年目標 交通事故発生件数

10万キロ当たり0.25件以下

(総事故を前年の半減)

2.輸送の安全に関する予算額

平成30年予算額合計	30,000,000円
① 輸送の安全の設備・機器に関する予算額	15,000,000円
② 輸送の安全に関する教育予算額	15,000,000円

輸送の安全に関する実施方針(目標を達成するための計画)

計画(1) 安全マネジメント委員会タクシー部会において、管理者が安全取組PDCAを発表し、マネジメントレビューを行う。

計画(2) 交通事故、クレーム、飲酒検知、運行管理、欠勤等の違反と無事故、お礼、燃費、生産性等の称揚を点数化して個別管理するタクシーユニット点数制度を活用し、社員に対する指導・処分や称揚を行い選ばれるタクシー企業を目指す。

計画(3) 安全管理規程第8条による適切なグループ組織体制により、各管理者の職務を明確にし、社員に対する指導を常に行う。

※輸送の安全確保に関する装置機器類について積極的に導入を計画する。

計画(4) モービルアイ(後付の衝突警報・車線逸脱警報装置)の取り付けの継続
ハイヤー以外の車両に対し、購入時からの衝突警報・車線逸脱警報装置装着を推進する。

計画(5) ナビゲーションシステムの取り付けの継続
全車両へのナビゲーションシステム装着を継続保持する。

計画(6) ABS(アンチロックブレーキシステム)装着車両の導入
新規購入車両は標準装備として装着。

計画(7) ドライブレコーダーを標準装備
新規購入車両は標準装備として装着。常時記録型ドライブレコーダーの全車装着を継続

計画(8) 最新型ユニバーサル・デザイン車両への代替の促進
新規購入車両について、最新安全運転装置装備車両を検討購入。

計画(9) スタッドレスタイヤの代替の促進
計画に基づき代替を促進するとともに、全輪に装着。

計画(10) 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置又は予防措置を講じる。

※内部監査は以下を計画する。

番号	実施する監査	時期・回数	内容等
1	内部監査員監査	1回以上/年	安全マネジメント実施状況等の点検
2	安全統括管理者点検	随時	上記実施項目他
3	タクシーユニット監査役監査	随時	
4	タクシーユニット労務・業務監査	随時	
5	タクシーユニット財務監査	随時	
6	両備グループ監査室監査	随時	

計画(11) 安全に関する情報の連絡・共有

- ①有効なヒヤリ・ハット情報は、エクセルでエリア分析をし、乗務担当社員間で情報共有化を推進する。(継続)
- ②交通事故発生の場合、事故発生から24時間以内にタクシーユニット本部安全マネジメント推進室への速報の義務付け。(継続)
- ③交通事故発生の場合、事故発生から3時間以内に事故・失態等対応基準により、経営トップに報告を義務付け。(継続)
- ④労働災害発生の場合も同じく、事故発生から24時間以内にCOOへ速報の義務付け。(継続)
- ⑤交通事故・労働災害等発生した場合、事故発生事業所・事故の種類・当該事故惹起者・事故の概況・現場見取り図・事故の想定できる原因等記載した「事故速報」または「タクシーユニット事故報告書」を各事業所へ送付。(継続)
- ⑥車両に出された「リコール」「対策」「サービスキャンペーン」等の情報については、平成29年2月に定めた事業用自動車リコール対応基準により、対象車両保有事業所へ、不良箇所を記載した情報を入手次第、対応文書を添付し送付、走行中のトラブル及び事故の防止を図る。(継続)

計画（12）安全に関する教育及び研修

【現業部門】（すべての研修において嘱託・パートも対象）

教育・研修名	対象者	内容	適用
新人タクシー 乗務担当社員研修	新入乗務担当社員	安全・サービスの実務 実技・技術の習得と訓練 無線実務研修 空港送迎研修	社内教育 タクシーセンター N A S V A
安全確認 事故予防訓練	全乗務担当社員	路上研修（定型コース） 狭路通過 T字スイッチバック 危険感受性訓練	一般道定型コース 所内設置 ヒヤリハット 映像活用
軽微有責事故教育訓練	軽微事故惹起者	関係諸法規研修 実技研修 安全確認訓練 個別指導	学科研修・試験 社内実技訓練 事故分析・個別面談 なぜなぜ面談
自損事故教育訓練	自損事故を起こした者	個別指導 実技研修 安全確認訓練	自己分析・個別面談 社内外実技訓練 座学・試験
有責事故教育訓練	有責事故を起こした者	個別指導 実技研修 安全確認訓練 関係諸法規研修	事故分析・個別面談 社内外実技訓練 座学・試験
複数回事故惹起訓練	年2回以上の事故を起こした者および、年度をまたぎ3回以上事故を起こした者	個別指導 実技研修 安全確認訓練 関係諸法規研修	事故分析・個別面談 社内外実技訓練 N A S V A研修・適正 座学・試験
事故惹起者グループ ミーティング	複数回事故惹起者から順次	実際のケースをもとに 原因究明と予防のための ディスカッション	ハイヤー・タクシー事業部 R G T安全推進室
リーダー研修	リーダー・サブリーダー	リーダー業務について 年間教育・指導内容 実技指導者研修	リーダー会議 社内研修 実技研修

【管理部門】（すべての研修において嘱託・パートも対象）

教育・研修名	対象者	内容	適用
新入社員基礎研修	タクシー・ハイヤー 基礎知識・業務知識	業界および当社業務・サービス等スタンダード 無線業務知識 運行管理知識 総務・経理業務知識	社内教育・社外研修 タクシーセンター 無線研修・運行管理基礎 及び一般研修
継続教育 一般	全社員	簿記関係基礎知識 接遇 マナー研修 国際マナー講座 語学研修	通信教育 ネット教育教材 外部講師招聘（通年） 英語 中国語
キャリアパス研修 （両備グループ）	事務系社員 （グループ共通）	キャリアパス設定科目	両備グループ資格要件 研修（両備教育センター 主催研修）
キャリアパス研修 （タクシーグループ）	事務系社員 （グループ共通）	法務・財務・運行管理の 基本知識	タクシーグループ内研 修
現場要員研修	運行管理者	運行管理の職務と役割 管理者向け研修 東京3社合同研修	タクシーグループ内研 修 nasva 主導
内部監査員研修	内部監査員	内部監査要領と実務の 習得	タクシーグループ内研 修、基本は社内講師
その他業務上、必要な 研修	事務系社員	例：マナー研修	タクシーグループ内研 修、基本は社内講師 必要あれば外部講師

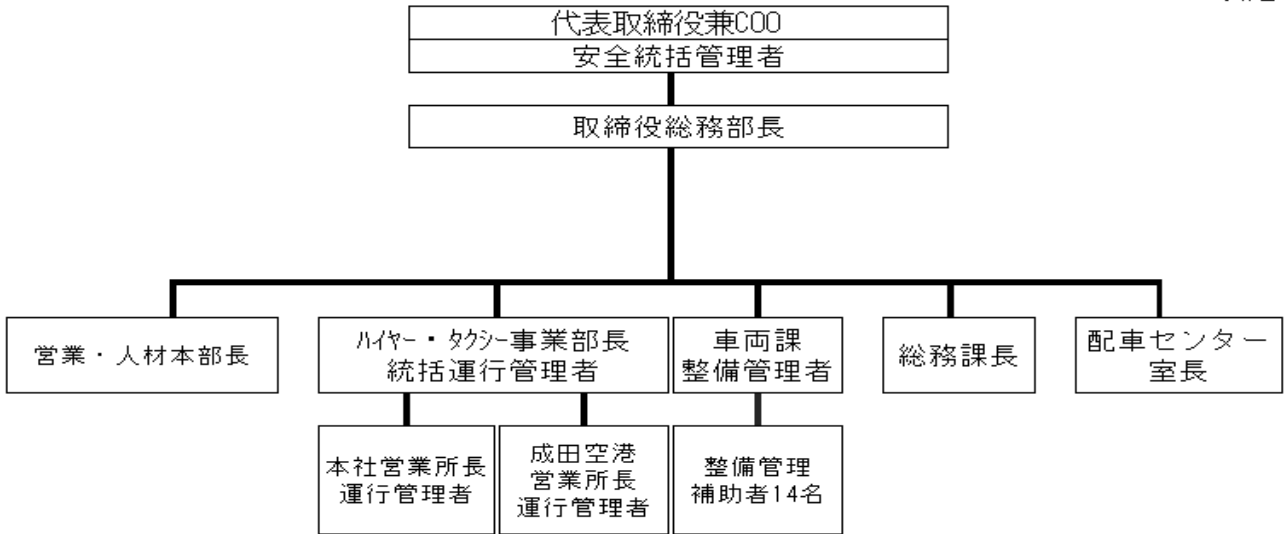
平成30年 安全・サービス年間計画 タクシーユニット

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
社内実施の研修等（現場部門：社内ルール、就業規則、沿革教育等）												
新人タクシー乗務担当社員研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
安全確認事故予防訓練	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
経歴有責事故教育訓練				随時								
日積事故教育訓練				随時								
有責事故教育訓練				随時								
複数回事故発着者訓練				随時								
事故発着者グループミーティング				随時								
リーダー研修				随時								
外部講師を招いての研修				随時								
事故発着者個別指導				随時								
事故通報等安全救急活動（資料・事故情報等のメール配付）	→											
チャレンジ365日（タクシーユニット全社の乗務社員運動記録を取付し、表彰）	→											
	配算日8月1日～7月31日											
社内実施の研修等（管理部門）												
新入社員基礎研修				随時								
簿記関係基礎知識研修				随時								
接客マナー研修				随時								
接客マナー研修				随時								
語学研修				随時								
両隣グループキャリアパス研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
タクシーユニットキャリアパス研修		○				○				○		
現場要員研修				○					○			
内部監査員研修							○					
その他業務上必要な研修				随時								
タクシーユニット本部・安全マネジメント推進室安全運動												
両隣グループ 安全マナジが委員会 タクシー部会による特別閉店日				16日 無事故の日				10日 シートベルト 開始の日				
街頭指導 （安全推進室が主導し、各営業所長等が、全社街頭パトロールと干渉運転者の指導）	随時											
安全総点検	15日	15日	15日	15日	15日	15日	15日	15日	15日	15日	15日	15日
文書点注意日	20日	20日	20日	20日	20日	20日	20日	20日	20日	20日	20日	20日
両隣グループ安全運動												
両隣グループ 交通安全月間							○					
両隣グループ 安全マナジが委員会による特別閉店日							21日 両隣グループ 無事故の日		14日 「前方法 定、最悪 の日」	10日/両隣 グループ 無事故 の日 21日/スマ ン事件を 発生 させない日		
春休み特別安全運動			29～31	1～5								
GW特別安全運動				29～30	1～5							
夏休み特別安全運動							17～31	1～31				
両隣等・タクシー協会安全運動												
春・秋の全国交通安全運動				6～15					21～30			
年末交通事故防止県民運動（岡山県）	1～5											1～31
県民交通安全の日（岡山県）	10日 ～28日	10日 ～28日	10日 ～28日	10日 ～28日	10日 ～28日	10日 ～28日	10日 ～28日	10日 ～28日	10日 ～28日	10日 ～28日	10日 ～28日	10日 ～28日
年末交通事故防止県民総ぐるみ運動（広島県のみ）												1～10日
年末年始の輸送等に関する安全総点検	1～10											10～31
両隣グループ関連行事												
SSP Up コンテスト他							21日 SSP UP 県大会		30日 SSP岡山 大会		14日・両隣 グループ 安全 FFA大会	
健康管理												
定期健康診断	→ 各社随時であるが、主として⇒の期間											
深夜業健康診断	各社随時であるが、主として⇒の期間 →											

・平成29年8月10日に起こったイースタンの事故を受けて、タクシーグループでは毎年8月10日を「危険回避及びシートベルト完全着用の日」とする。

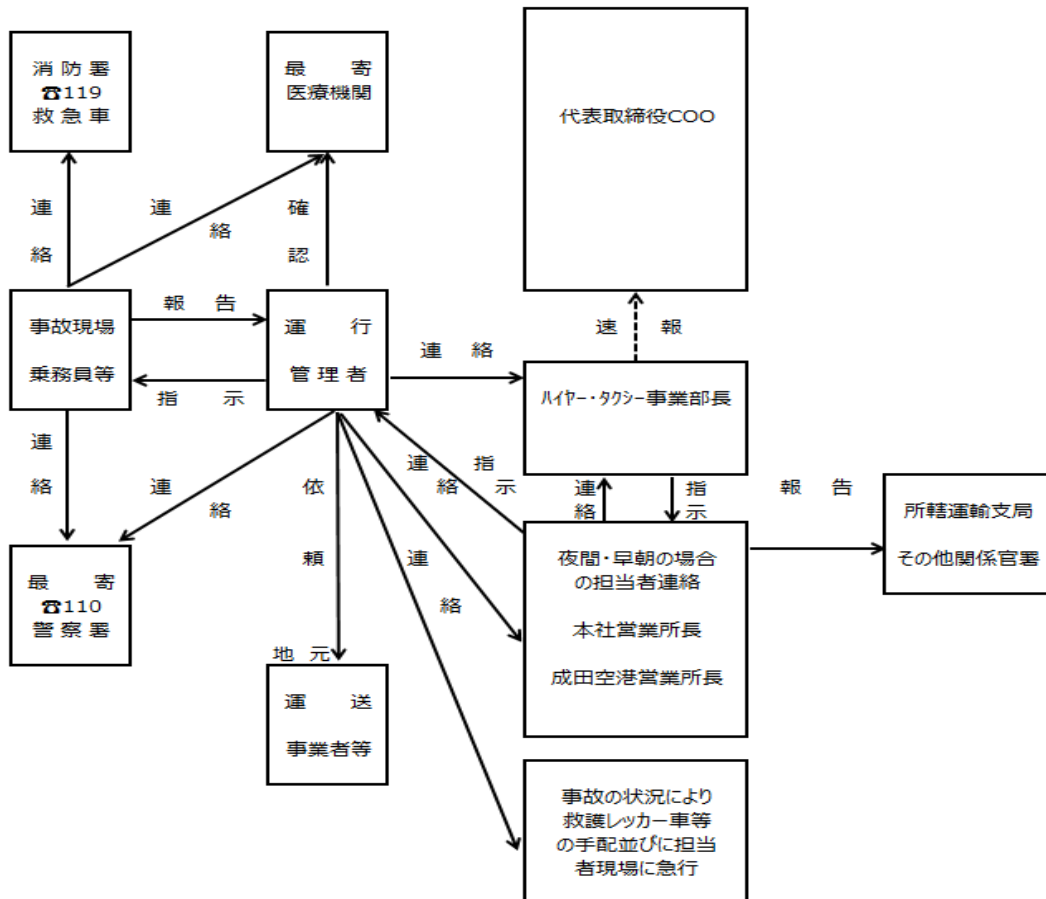
株式会社ハロー・トーキョー
安全管理組織図

H30.2.21改定

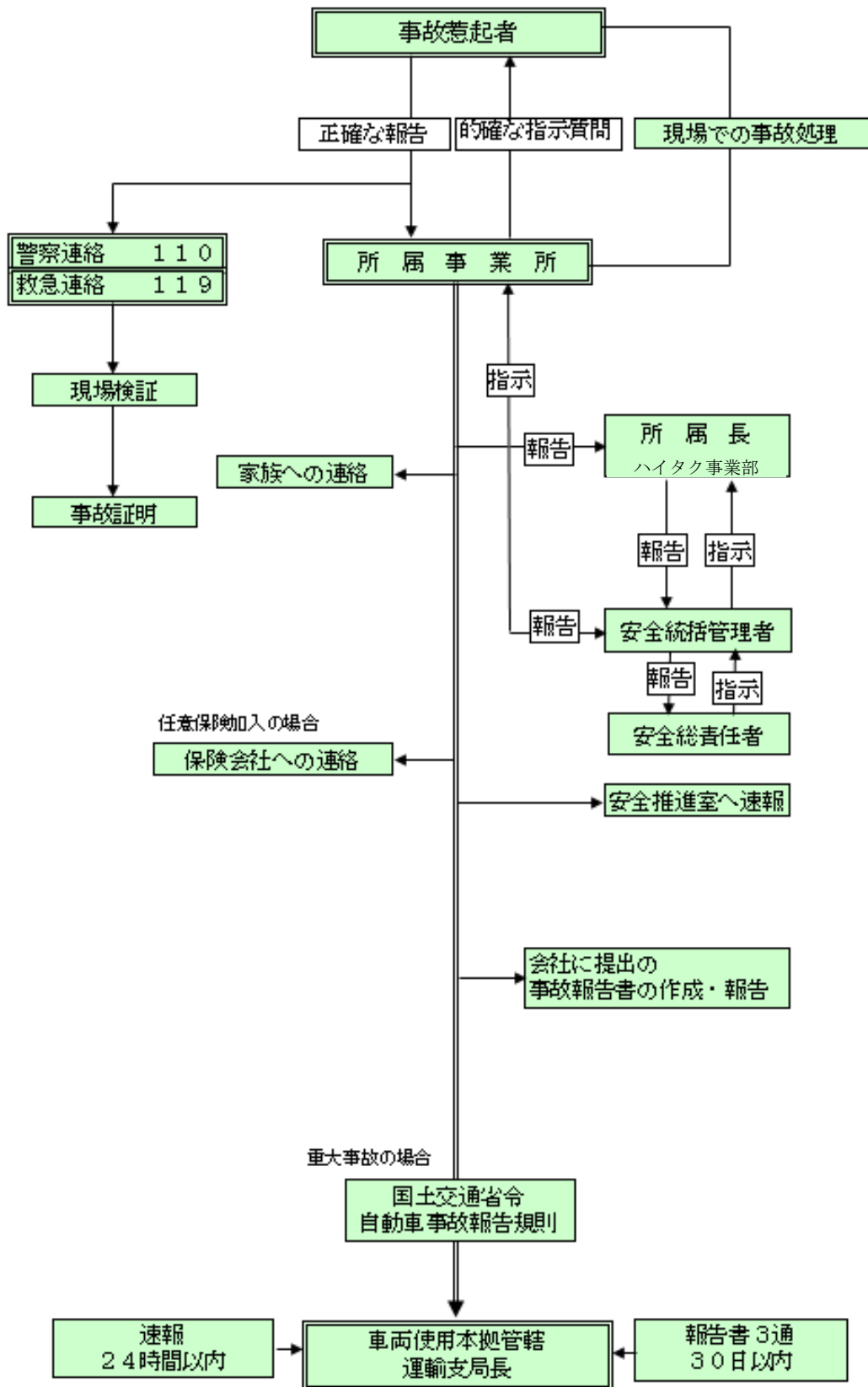


重大死傷事故発生時報告及び連絡図
(緊急連絡網)

H30.2.21改定



ハロー・トーキョー 事故処理と報告



平成30年 安全管理規程に基づくチェックリスト

1. 目標管理・監査及び競技会他

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備 考
目標管理	10万キロ当たり事故件数【毎月】													安全7797大小推進室資料
	10万キロ当たり事故件数【累計】													安全7797大小推進室資料
	有責事故件数													安全7797大小推進室資料
	総事故件数													安全7797大小推進室資料
	事故通報													安全7797大小推進室資料
監査	内部監査員監査													1回以上/年
	安全統括管理者点検													随時
	タクシーユニット監査役監査													随時
	タクシーユニット労務・業務監査													随時
	タクシーユニット財務監査													随時
	両備グループ監査室監査													随時
	※ 国土交通省マネジメント評価 モニタリング													東京三社合同 naseva模 擬監査 随時
巡回活動	街頭指導の日 運行管理者													随時
競技会	SSPupコンテスト													関東大会7月実箱予定 関西大会10月3日実箱予定

2. 研修

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備 考
	社内実施の研修等（現業部門：社内ルール、就業規則、添乗教育等）													適用
1	新人タクシー乗務担当社員研修													毎月
2	安全確認事故予防訓練													毎月
3	軽微有責事故教育訓練													随時
4	自損事故教育訓練													随時
5	有責事故教育訓練													随時
6	複数回事故惹起者訓練													随時
7	事故惹起者グループミーティング													随時
8	リーダー研修													随時
9	外部講師を招いての研修													随時
10	事故惹起者個別指導													随時
11	事故通報等安全教宣活動 （資料・事故情報等のメール配付）	=====												
12	チャレンジ365日（タク シーユニット全社の乗務社 員運転経歴を取得し、表 彰）	=====												
		起算日8月1日～7月31日												
	社内実施の研修等（管理部門）													
14	新入社員基礎研修													随時
15	簿記関係基礎知識研修													随時
16	接遇マナー研修													随時
17	国際マナー研修													随時
18	語学研修													随時
19	両備グループキャリアパス研修													毎月
20	タクシーユニットキャリアパス研修													随時
21	現場要員研修													随時
22	内部監査員研修													随時
23	その他業務上必要な研修													随時